

授業名	コンピューター基礎(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	鈴木良高
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	2007年～2010年まで株式会社オムニバス・ジャパンCG/編集科に所属。2010年より独立し現在に至る。 2010年以降は自社で映像に関するプリプロ・プロダクション・ポストプロダクションの一貫した業務を行う。						
授業の学習 内容	VFX=VisualEffects=視覚効果とは何か、CGやデザインとの違い、撮影時の注意点やソフトウェアの使用方法を目的とする。 VFX作成ソフトとして日本で最も使用されているソフトAfterEffectsを使用してVFXの他にモーショングラフィックス、合成などを事例を交えて学習する。 2コマあるうちの1コマ目は座学での知識習得や技術方法の習得、2コマ目に学習した内容の実践を実技形式で行う。						
到達目標	AfterEffectsの基本操作の習得						
評価方法と基準	出席率と授業への姿勢、進捗状況 学期末に行う実技テストの点数						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	AEのインターフェイスとワークスペースとタイムラインを理解する	前回授業の復習			
2		演習	AEのインターフェイスとワークスペースとタイムラインを理解する	前回授業の復習			
3		演習	キーフレームアニメーション基礎の習得	前回授業の復習			
4		演習	キーフレームアニメーション基礎の習得	前回授業の復習			
5		演習	ペンツールを使用したシェイプとマスクの作成方法	前回授業の復習			
6		演習	ペンツールを使用したシェイプとマスクの作成方法	前回授業の復習			
7		演習	レイヤーへのエフェクトの適用方法 クロマキー撮影とAEでの処理方法	前回授業の復習			
8		演習	レイヤーへのエフェクトの適用方法 クロマキー撮影とAEでの処理方法	前回授業の復習			
9		演習	レイヤーへのエフェクトの適用方法 クロマキー撮影とAEでの処理方法	前回授業の復習			
10		演習	効率的にアニメーションするためのベアレント化とヌルオブジェクト	前回授業の復習			
11		演習	効率的にアニメーションするためのベアレント化とヌルオブジェクト	前回授業の復習			
12		演習	効率的にアニメーションするためのベアレント化とヌルオブジェクト	前回授業の復習			
13		演習	動画素材の動きを解析するモーショントラッキング基礎	前回授業の復習			
14		演習	動画素材の動きを解析するモーショントラッキング基礎	前回授業の復習			
15		演習	動画素材の動きを解析するモーショントラッキング基礎	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	コンピューター基礎(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	鈴木良高
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	2007年～2010年まで株式会社オムニバス・ジャパンCG/編集科に所属。2010年より独立し現在に至る。 2010年以降は自社で映像に関するプリプロ・プロダクション・ポストプロダクションの一貫した業務を行う。						
授業の学習 内容	VFX=VisualEffects=視覚効果とは何か、CGやデザインとの違い、撮影時の注意点やソフトウェアの使用方法を目的とする。 VFX作成ソフトとして日本で最も使用されているソフトAfterEffectsを使用してVFXの他にモーショングラフィックス、合成などを事例を交えて学習する。 2コマあるうちの1コマ目は座学での知識習得や技術方法の習得、2コマ目に学習した内容の実践を実技形式で行う。						
到達目標	AfterEffectsの標準機能を活用してオリジナル作品の制作						
評価方法と基準	出席率と授業への姿勢、進捗状況 学期末に行う実技テストの点数						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	ロトスコープとロトブラシ	前回授業の復習			
2		演習	AEプロジェクトとファイルマネージメント	前回授業の復習			
3		演習	合成基礎① これまでの複数の機能を使用した合成技術の習得	前回授業の復習			
4		演習	合成基礎② これまでの複数の機能を使用した合成技術の習得	前回授業の復習			
5		演習	タイムラインのオペレート方法とレイヤーの応用	前回授業の復習			
6		演習	レイヤーのキーフレームアニメーションの応用とグラフでの調整方法	前回授業の復習			
7		演習	合成応用①複数の機能を応用使用した合成技術の習得	前回授業の復習			
8		演習	合成応用②複数の機能を応用使用した合成技術の習得	前回授業の復習			
9		演習	3Dシーン	前回授業の復習			
10		演習	複数のクロマキーエフェクトを使用したクロマキー応用	前回授業の復習			
11		演習	AE内での3Dオブジェクト(テキストなど)の作成とレンダリング方法	前回授業の復習			
12		演習	mochaを使用したプランナートラッキングとAEとの連携方法	前回授業の復習			
13		演習	mochaを使用したプランナートラッキングとAEとの連携方法	前回授業の復習			
14		演習	就職活動に必要なデモリールやポートフォリオの作成意義と作成方法 VFXテスト② 理解度のテストを実技テスト形式で行う	前回授業の復習			
15		演習	就職活動に必要なデモリールやポートフォリオの作成意義と作成方法 VFXテスト② 理解度のテストを実技テスト形式で行う	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	コンピューターデザイン(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	泉原昭人
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	スタジオマンゴスチン主宰。 短編アニメーションやイラストを制作。国際映画祭等で受賞、上映多数。						
授業の学習 内容	Photoshop ,Illustratorの二つのグラフィックソフトについて、実習制作を行いながら、技術習得を行う。						
到達目標	Photoshop ,Illustratorの基礎～応用技術を習得し、課題を制作することで、グラフィックデザインの基礎知識を得ること						
評価方法と基準	学期末に各課題内容を採点し総合的に判断						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	オリエンテーション (復習・技術確認)～ 練習:ポスター制作	前回授業の復習			
2		演習	・課題1:オリジナルロゴデザイン(ラフ案作成) デザイン作成(イラレ、フォトショ)	前回授業の復習			
3		演習	・課題1:オリジナルロゴデザイン(ラフ案作成) デザイン作成(イラレ、フォトショ)	前回授業の復習			
4		演習	・課題1:オリジナルロゴデザイン(ラフ案作成) 課題提出	前回授業の復習			
5		演習	・課題2:オリジナルロゴ入り名刺の作成 (縦型、横型、2種類の裏表をデザインする)	前回授業の復習			
6		演習	・課題2:オリジナルロゴ入り名刺の作成 (縦型、横型、2種類の裏表をデザインする)	前回授業の復習			
7		演習	課題2:オリジナルロゴ入り名刺の作成課題提出	前回授業の復習			
8		演習	課題3:Tシャツデザインー1 (フォトショ～イラレ)	前回授業の復習			
9		演習	課題3:Tシャツデザインー1 (フォトショ～イラレ)	前回授業の復習			
10		演習	課題3:Tシャツデザインー1 (フォトショ～イラレ) 課題提出	前回授業の復習			
11		演習	課題4:タイポグラフィー 1 既存の小説、映画のタイトルをデザインする 提出	前回授業の復習			
12		演習	課題4:タイポグラフィー 1 既存の小説、映画のタイトルをデザインする 提出	前回授業の復習			
13		演習	課題4:タイポグラフィー 2 既存の小説、映画と関連するイメージを組み合わせてデザインする	前回授業の復習			
14		演習	課題4:タイポグラフィー 2課題提出	前回授業の復習			
15		演習	課題4:タイポグラフィー 2課題提出	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画&放送専門学校							

授業名		コンピューターデザイン(2)		必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	泉原昭人
学科・専攻		総合芸術科(昼間部二)		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴		スタジオマンゴスチン主宰。 短編アニメーションやイラストを制作。国際映画祭等で受賞、上映多数。							
授業の学習 内容		グラフィックソフトの中で最も汎用性が高く、様々な業界で使用されている、Photoshop、Illustratorの二つのグラフィックソフトについて、実習制作を行いながら、技術習得を行う。							
到達目標		Photoshopの基礎技術を理解し、課題を制作することで様々な目的に応じた素材の編集、加工が行えるようになること。後期のIllustratoへの準備。							
評価方法と基準		学期末に各課題内容を採点し総合的に判断							
授業計画・内容									
回数	日程	授業形態	学習内容				準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	課題1:ポストカードデザイン データ制作における工程の復習、解像度、配置等について				前回授業の復習		
2		演習	課題1:ポストカードデザイン データ制作における工程の復習、解像度、配置等について				前回授業の復習		
3		演習	課題2:パターンデザインの作成				前回授業の復習		
4		演習	課題2:パターンデザインの作成				前回授業の復習		
5		演習	課題3:メッシュによるオブジェクトデザイン				前回授業の復習		
6		演習	課題3:メッシュによるオブジェクトデザイン				前回授業の復習		
7		演習	課題3:メッシュによるオブジェクトデザイン提出				前回授業の復習		
8		演習	課題4:DVDデザイン データ制作における工程の復習、解像度、配置等について				前回授業の復習		
9		演習	課題4:DVDデザイン データ制作における工程の復習、解像度、配置等について				前回授業の復習		
10		演習	課題4:DVDデザイン データ制作における工程の復習、解像度、配置等について				前回授業の復習		
11		演習	課題4:DVDデザイン提出				前回授業の復習		
12		演習	課題4:Zine デザイン 見開きA4サイズ、表紙、裏表紙を含め、8ページのZineをデザインする				前回授業の復習		
13		演習	課題4:Zine デザイン 見開きA4サイズ、表紙、裏表紙を含め、8ページのZineをデザインする				前回授業の復習		
14		演習	課題4:Zine デザイン 見開きA4サイズ、表紙、裏表紙を含め、8ページのZineをデザインする				前回授業の復習		
15		演習	課題4:Zine デザイン 提出				前回授業の復習		
準備学習 時間外学習									
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。									
東京俳優・映画＆放送専門学校									

授業名	ソフトウェア基礎知識(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	大場 学
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	クリエイティブディレクター。インターネット広告代理店、音楽出版社を経て現在は音楽事務所ROOFTOPと業務提携を結び、主にasmi、Rin音、クボタカイなどのアニメーションMV、リリックビデオ、広告映像、ライブバックグラウンド映像他アルバムジャケットデザインなどを手がける。						
授業の学習内容	After Effectsで映像を作る上で、効率的な作業は必須となる。 また前提条件としてパソコン自体の素早い操作もマスターしなければならない。 それに最も貢献するのがショートカットキーのマスターとAEのエクспレッションの活用である。 エクспレッションとはJavaScriptをベースにしたAfter Effects用のプログラムで、これを理解・活用できるか否かで作業効率に大幅な違いが生まれ、表現の幅も広がる。 エクспレッションのベースとなるJavaScriptを学ぶことでエクспレッションを活用した動画編集に活かし、作業効率も追及して動画のクオリティを高める方法を学ぶ。						
到達目標	パソコンおよびAE操作の高速化(主にショートカット活用。現在の2倍の速度を目指す) JavaScriptプログラミングの基礎、エクспレッションの基礎を学ぶ						
評価方法と基準	授業への取り組み姿勢他、 ・通常授業時は15時を目安に毎度課題を与え、それを授業終了時にフォームから提出し評価を行う ・期末試験は制限時間内に課題制作提出と筆記テストを行うことにより評価を行う						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	オリエンテーション。パソコン基本操作チェック、ショートカット習得	前回授業の復習			
2		演習	After Effectsの基本操作確認、基本ショートカット確認	前回授業の復習			
3		演習	WEBコーディング、プログラミング概要～HTML、CSS、JavaScript～	前回授業の復習			
4		演習	JavaScript基礎1～基礎文法、値、変数、演算子～	前回授業の復習			
5		演習	エクспレッション基礎1～基礎文法、time、wiggle、random～	前回授業の復習			
6		演習	JavaScript基礎2～配列、条件分岐～	前回授業の復習			
7		演習	エクспレッション基礎2～配列、条件分岐を使ったモーション～	前回授業の復習			
8		演習	JavaScript基礎3～関数、DOM～	前回授業の復習			
9		演習	エクспレッション基礎3～レイヤー構造、ピックアップ～	前回授業の復習			
10		演習	JavaScriptスキルチェック～ボールが跳ね返るプログラムを自作～	前回授業の復習			
11		演習	エクспレッションスキルチェック～自分で簡易的なエクспレッションを設計し動作させる～	前回授業の復習			
12		演習	adobeグラフィックソフト(Illustrator、Photoshop)基本操作確認	前回授業の復習			
13		演習	After Effectsと他adobeソフト(Illustrator、Photoshop)との連携	前回授業の復習			
14		演習	After Effectsと他adobeソフト(Illustrator、Photoshop)との連携②	前回授業の復習			
15		演習	期末試験(課題制作＋筆記)	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	ソフトウェア基礎知識(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	大場 学
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	クリエイティブディレクター。インターネット広告代理店、音楽出版社を経て現在は音楽事務所ROOFTOPと業務提携を結び、主にasmi、Rin音、クボタカイなどのアニメーションMV、リリックビデオ、広告映像、ライブバックグラウンド映像他アルバムジャケットデザインなどを手がける。						
授業の学習内容	After Effectsで映像を作る上で、効率的な作業は必須となる。 また前提条件としてパソコン自体の素早い操作もマスターしなければならない。 それに最も貢献するのがショートカットキーのマスターとAEのエクспレッションの活用である。 エクспレッションとはJavaScriptをベースにしたAfter Effects用のプログラムで、これを理解・活用できるか否かで作業効率に大幅な違いが生まれ、表現の幅も広がる。 エクспレッションのベースとなるJavaScriptを学ぶことでエクспレッションを活用した動画編集に活かし、作業効率も追及して動画のクオリティを高める方法を学ぶ。 また近年目覚ましく発展するAIをどのように活かすか、事例を紹介しながら今後の制作との向き合い方を考える。						
到達目標	制作を通す中で、どの場面でエクспレッションの活用が望ましいかを判断し活用する力を身に着ける。エクспレッションだけでなく様々なエフェクトやスキルを組み合わせ、実践的なクリエイティブスキルを習得する。今後のクリエイティブ業界のあり方を見据え、最新技術とどう向き合うかを自分の頭で考えられるようにする。						
評価方法と基準	授業への取り組み姿勢他、 ・通常授業時は15時を目安に毎度課題を与え、それを授業終了時にフォームから提出し評価を行う他、授業への取り組み姿勢、各自の目標への到達度などで総合的に評価を行う。 ・期末試験は試験より数週前より与えられた素材(実際のプロのクリエイターより提供あり)からリリックビデオ制作を予定しており、プレゼンを行ってもらうことで評価を行う						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	前期復習(Javascript、エクспレッション)	前回授業の復習			
2		演習	エクспレッション応用1～コンポジション、レイヤープロパティ取得～	前回授業の復習			
3		演習	エクспレッション応用2～マーカーによるエクспレッション制御～	前回授業の復習			
4		演習	応用制作1～複数のエフェクトを組み合わせた複雑な表現1～	前回授業の復習			
5		演習	応用制作2～複数のエフェクトを組み合わせた複雑な表現2～	前回授業の復習			
6		演習	応用制作3～複数のエフェクトを組み合わせた複雑な表現3～	前回授業の復習			
7		演習	スクリプトファイル、プリセットの活用による効率化手法1	前回授業の復習			
8		演習	スクリプトファイル、プリセットの活用による効率化手法2	前回授業の復習			
9		演習	ChatGPT、Gemini、HeyGen、FlowなどAI活用による動画制作紹介1	前回授業の復習			
10		演習	ChatGPT、Gemini、HeyGen、FlowなどAI活用による動画制作紹介2	前回授業の復習			
11		演習	ChatGPT、Gemini、HeyGen、FlowなどAI活用による動画制作紹介3	前回授業の復習			
12		演習	期末課題制作(与えられた素材を使用し3分程度のリリックビデオ制作)	前回授業の復習			
13		演習	期末課題制作(与えられた素材を使用し3分程度のリリックビデオ制作)	前回授業の復習			
14		演習	期末課題制作(与えられた素材を使用し3分程度のリリックビデオ制作)	前回授業の復習			
15		演習	制作発表・プレゼン(試験)	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	グラフィックデザイン(1)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	泉原昭人
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)		
教員の略歴	スタジオマンゴスチン主宰。 短編アニメーションやイラストを制作。国際映画祭等で受賞、上映多数。						
授業の学習 内容	Photoshop ,Illustratorの二つのグラフィックソフトについて、実習制作を行いながら、技術習得を行う。						
到達目標	Photoshopの基礎技術を理解し、課題を制作することで様々な目的に応じた素材の編集、加工が行えるようになること。後期のIllustratoへの準備。						
評価方法及び基準	学期末に各課題内容を採点し総合的に判断						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	<デザインワークについて>Photoshop ,Illustratorはどのように使用されているか、ポスターの制作過程から学ぶ	前回授業の復習			
2		演習	<Photoshop> ・ドキュメント設定、レイヤー構造について	前回授業の復習			
3		演習	<Photoshop> ・選択範囲1 切り抜き一合成	前回授業の復習			
4		演習	<Photoshop> ・選択範囲2 変形ー加工1	前回授業の復習			
5		演習	<Photoshop> ・選択範囲2 変形ー加工2	前回授業の復習			
6		演習	<Photoshop> ・レイヤーマスク	前回授業の復習			
7		演習	<Photoshop> ・レイヤーマスク 課題提出	前回授業の復習			
8		演習	<Photoshop> ・色調補正	前回授業の復習			
9		演習	<Photoshop> ・色調補正課題提出	前回授業の復習			
10		演習	<Photoshop> ・課題:フォトコラージュ	前回授業の復習			
11		演習	<Photoshop> ・課題:フォトコラージュ	前回授業の復習			
12		演習	<Photoshop> ・課題:フォトコラージュ	前回授業の復習			
13		演習	課題:フォトコラージュ 課題提出	前回授業の復習			
14		演習	課題:フォトコラージュ 課題提出	前回授業の復習			
15		演習	課題:フォトコラージュ 課題提出	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画 & 放送専門学校							

授業名	グラフィックデザイン(2)		必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	泉原昭人
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	スタジオマンゴスチン主宰。 短編アニメーションやイラストを制作。国際映画祭等で受賞、上映多数。							
授業の学習 内容	Photoshop ,Illustratorの二つのグラフィックソフトについて、実習制作を行いながら、技術習得を行う。							
到達目標	Photoshopの基礎技術を理解し、課題を制作することで様々な目的に応じた素材の編集、加工が行えるようになること。後期のIllustratoへの準備。							
評価方法と基準	学期末に各課題内容を採点し総合的に判断							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	＜Illustrator＞ツール機能 ブレンド(応用デザイン)			前回授業の復習		
2		演習	＜Illustrator＞ツール機能 アピアランス(線種について)			前回授業の復習		
3		演習	＜Illustrator＞ツール機能 テキスト入力			前回授業の復習		
4		演習	＜Illustrator＞演習：地図を作成する(総合復習)			前回授業の復習		
5		演習	＜photoshop＋Illustratr＞ 解像度について 課題：ポストカード作成			前回授業の復習		
6		演習	＜photoshop＋Illustratr＞ 解像度について 課題：ポストカード作成			前回授業の復習		
7		演習	課題提出			前回授業の復習		
8		演習	＜photoshop＋Illustratr＞ 演習：映画祭ポスターの作成			前回授業の復習		
9		演習	＜photoshop＋Illustratr＞ 演習：映画祭ポスターの作成			前回授業の復習		
10		演習	＜photoshop＋Illustratr＞ 課題：オリジナルポスター制作			前回授業の復習		
11		演習	＜photoshop＋Illustratr＞ 課題：オリジナルポスター制作			前回授業の復習		
12		演習	課題提出			前回授業の復習		
13		演習	プロフィールカードの作成 提出			前回授業の復習		
14		演習	プロフィールカードの作成 提出			前回授業の復習		
15		演習	課題提出			前回授業の復習		
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。								
東京俳優・映画＆放送専門学校								

授業名	放送業界基礎知識(1)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	石田一利
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	講義	総時間(単位)	60(2単位)		
教員の略歴	様々な制作会社を経て、フジテレビ、日本テレビなどの作品をこなすディレクター						
授業の学習内容	一年間を通して、ひとつの番組を作り上げていくことを目指します。そのため、授業の流れとしては、企画段階から、完パケまでの道筋の順で授業を進めていきます。授業形態としては、座学的な勉強のみならず、打ち合わせ形式を取りながらどのような番組を作り上げていくかなどを決めていきます。その後は、どんどん実技を取り入れながら、プロの現場さながらの授業に移行していきます。ほかにも、技術の学科や美術の学科などいくつかの学科とコラボレーションしながら、本当の番組制作を体験できればと思っています。						
到達目標	企画から台本まで作成及び、インサートVTRの作成						
評価方法及び基準	どれだけ授業に積極的に参加・取り組みをしたか。						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義	映像を観る側から創る側へ	前回授業の復習			
2		講義	そもそも映像とは？映像はこの先の最強ツール	前回授業の復習			
3		講義	創る側の自分、今はどこにいる？「商業orアート」	前回授業の復習			
4		講義	誰かに届ける事が映像の本質	前回授業の復習			
5		講義	誰かのための映像、大事なこと	前回授業の復習			
6		講義	ニーズこそが映像クリエイターの指針	前回授業の復習			
7		講義	誰かを定義する「ペルソナ」の作り方 基本的ペルソナから見えてくる映像	前回授業の復習			
8		講義	映像制作に於ける仕事の種類と概念	前回授業の復習			
9		講義	良い映像の源泉は「アイデア」その概念と構築方法①	前回授業の復習			
10		講義	良い映像の源泉は「アイデア」その概念と構築方法②	前回授業の復習			
11		講義	アイデアはどこからくる？ 発想力を鍛える映像クリエイターの思考法①	前回授業の復習			
12		講義	アイデアはどこからくる？ 発想力を鍛える映像クリエイターの思考法②	前回授業の復習			
13		講義	コンテンツ分解思考法① 逆算・再構築・模倣の技	前回授業の復習			
14		講義	コンテンツ分解思考法② 逆算・再構築・模倣の技	前回授業の復習			
15		講義	企画書という最強の武器を身に着ける①	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	放送業界基礎知識(2)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	石田一利
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	講義	総時間 (単位)	60 (2単位)		
教員の略歴	様々な制作会社を経て、 フジテレビ、日本テレビなどの作品をこなすディレクター						
授業の学習 内容	一年間を通して、ひとつの番組を作り上げていくことを目指します。そのため、授業の流れとしましては、企画段階から、完パケまでの道筋の順で授業を進めていきます。 授業形態としては、座学的な勉強のみならず、打ち合わせ形式を取りながらをどのような番組を作り上げていくかなどを決めていきます。その後は、どんどん実技を取り入れながら、プロの現場さながらの授業に移行していきます。ほかにも、技術の学科や美術の学科などいくつかの学科とコラボレーションしながら、本当の番組制作を体験できればと思っています。						
到達目標	スタジオ実践で収録・完パケを目指します(スタジオ収録・編集・MAなど)						
評価方法及び基準	どれだけ授業に積極的に参加・取り組みをしたか。						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義	コンテンツ制作における台本確認授業	前回授業の復習			
2		講義	コンテンツ制作における台本確認授業	前回授業の復習			
3		講義	コンテンツ制作におけるスタジオ実践 授業 * スタジオ	前回授業の復習			
4		講義	コンテンツ制作におけるスタジオ実践 授業 * スタジオ	前回授業の復習			
5		講義	コンテンツ制作におけるスタジオ実践 授業 * スタジオ	前回授業の復習			
6		講義	コンテンツ制作リハーサル授業 * スタジオ	前回授業の復習			
7		講義	コンテンツ制作本番授業 * スタジオ	前回授業の復習			
8		講義	コンテンツ制作編集授業	前回授業の復習			
9		講義	コンテンツ制作編集授業	前回授業の復習			
10		講義	コンテンツ制作編集授業及びMA用ナレーション原稿作成	前回授業の復習			
11		講義	コンテンツ制作MA授業	前回授業の復習			
12		講義	コンテンツ制作MA授業	前回授業の復習			
13		講義	コンテンツ制作MA授業 * ナレーション収録	前回授業の復習			
14		講義	コンテンツ制作MA授業 * ナレーション収録	前回授業の復習			
15		講義	試写 反省会 授業	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	演技・演出（１）	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	柴崎貴行
学科・専攻	総合芸術科（昼間部二）	授業形態	演習	総時間（単位）	90（3単位）		
教員の略歴	千代田工科芸術専門学校を卒業後、東映（株）の特撮番組の現場にて助監督としてTV番組製作、映画製作に従事。その後、平成仮面ライダーシリーズやスーパー戦隊シリーズにて監督へ昇格。スーパー戦隊シリーズでは3作品、仮面ライダーでは2作品のパイロット(1.2話)監督を担当。2010年に初の長編映画の監督を担当。その後、同シリーズを含む長編映画の監督を計10本以上担当。現在も、仮面ライダーシリーズに監督として参加中。日本映画監督協会協会員。						
授業の学習内容	映像の現場で助監督として即戦力として働くためには、映画監督（演出家）の仕事や考え方、映画製作の流れ、監督をサポートする助監督の役割、各パートの役割や関わり方を理解することが必要です。①映画スタッフの構成と役割②③映画製作工程全般④⑤映画監督の実務⑥サード、セカンド、チーフ助監督の種類と役割⑦⑧助監督の実務⑨現場スタッフの心得⑩台本の読み方、整理方法と書き、予定表、番盤表の見方、撮影用語⑪⑫カメラサイズとカメラワーク、カット割り、演出意図⑬イマジナリーライン⑭著作権、映像団体⑮⑯チンコの書き方、入れ方・台本を読み解く⑰⑱最新合成カットの仕組みと手法⑲⑳最新合成カットの仕組みと手法2・合成画コンテ㉑㉒大物小物表、合成素材表の書き方、消えもの、劇用金の取り扱い㉓㉔劇用原稿の書き方㉕隠しもの㉖劇用スチールの撮影方法㉗演技指導と人物配置㉘エキストラの発注方法と芝居の組み方㉙編集と仕上げ作業、音の演出、ダビング、MA㉚制作部の仕事修了時には、自分で考え判断し、各パートと連携して撮影の準備や進行が出来るようになる。						
到達目標	映画製作の過程全般、監督や各スタッフの仕事と役割を理解する。現場スタッフ（助監督）の仕事と役割を理解し、撮影準備や現場進行が出来るようにする。						
評価方法と基準	課題・レポート100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習（学習課題）			
1		演習	スタッフ紹介・メインスタッフ②映画製作工程	前回授業の復習			
2		演習	スタッフ紹介・メインスタッフ②映画製作工程	前回授業の復習			
3		演習	映画製作工程④映画監督の実務	前回授業の復習			
4		演習	映画製作工程④映画監督の実務	前回授業の復習			
5		演習	映画監督の実務2⑥助監督の種類と役割	前回授業の復習			
6		演習	映画監督の実務2⑥助監督の種類と役割	前回授業の復習			
7		演習	映画監督の実務2⑥助監督の種類と役割	前回授業の復習			
8		演習	サード助監督の実務（セカンド・チーフ）	前回授業の復習			
9		演習	サード助監督の実務（セカンド・チーフ）	前回授業の復習			
10		演習	現場スタッフの心得⑩台本の整理 予定表の見方 番盤 合成素材表	前回授業の復習			
11		演習	現場スタッフの心得⑩台本の整理 予定表の見方 番盤 合成素材表	前回授業の復習			
12		演習	カメラサイズ・カット割り・演出意図	前回授業の復習			
13		演習	カメラサイズ・カット割り・演出意図	前回授業の復習			
14		演習	イマジナリーライン 目線 ⑭著作権 映像団体	前回授業の復習			
15		演習	イマジナリーライン 目線 ⑭著作権 映像団体	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	演技・演出(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	柴崎貴行
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間(単位)	90(3単位)		
教員の略歴	千代田工科芸術専門学校を卒業後、東映(株)の特撮番組の現場にて助監督としてTV番組製作、映画製作に従事。その後、平成仮面ライダーシリーズやスーパー戦隊シリーズにて監督へ昇格。スーパー戦隊シリーズでは3作品、仮面ライダーでは2作品のパイロット(1,2話)監督を担当。2010年に初の長編映画の監督を担当。その後、同シリーズを含む長編映画の監督を計10本以上担当。現在も、仮面ライダーシリーズに監督として参加中。日本映画監督協会協会員。						
授業の学習内容	映像の現場で助監督として即戦力として働くためには、映画監督(演出家)の仕事や考え方、映画製作の流れ、監督をサポートする助監督の役割、各パートの役割や関わり方を理解することが必要です。①映画スタッフの構成と役割②③映画製作工程全般④⑤映画監督の実務⑥サード、セカンド、チーフ助監督の種類と役割⑦⑧助監督の実務⑨現場スタッフの心得⑩台本の読み方、整理方法と書き、予定表、番盤表の見方、撮影用語⑪⑫カメラサイズとカメラワーク、カット割り、演出意図⑬⑭マジナリーライン⑮著作権、映像団体⑯⑰最新合成カットの仕組みと手法⑱⑲最新合成カットの仕組みと手法2・合成画コンテ・大物小物表、合成素材表の書き方⑳㉑カチンコの書き方、入れ方㉒㉓劇用原稿の書き方・名称設定㉔㉕隠しもの・消えもの・劇用金・劇用スチールの撮影方法㉖㉗演技指導と人物配置・エキストラの発注方法と芝居の組み方㉘編集と仕上げ作業、音の演出、ダビング、MA㉙制作部の仕事修了時には、自分で考え判断し、各パートと連携して撮影の準備や進行が出来るようになる。						
到達目標	演出部として準備・撮影進行が出来る						
評価方法と基準	課題・レポート100%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	最新合成カットの仕組みと手法	前回授業の復習			
2		演習	最新合成カットの仕組みと手法	前回授業の復習			
3		演習	最新合成カットの仕組みと手法2・合成画コンテ・大物小物表	前回授業の復習			
4		演習	最新合成カットの仕組みと手法2・合成画コンテ・大物小物表	前回授業の復習			
5		演習	カチンコの書き方、入れ方	前回授業の復習			
6		演習	カチンコの書き方、入れ方	前回授業の復習			
7		演習	撮影用原稿の書き方・名称設定	前回授業の復習			
8		演習	撮影用原稿の書き方・名称設定	前回授業の復習			
9		演習	撮影用原稿の書き方・名称設定	前回授業の復習			
10		演習	隠しもの・消えもの・劇用金・劇用スチール	前回授業の復習			
11		演習	隠しもの・消えもの・劇用金・劇用スチール	前回授業の復習			
12		演習	演技指導・エキストラ設定	前回授業の復習			
13		演習	演技指導・エキストラ設定	前回授業の復習			
14		演習	編集・音の選出・制作部の仕事	前回授業の復習			
15		演習	編集・音の選出・制作部の仕事	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	番組・イベント企画(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	宮内見
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の経歴	放送作家歴35年目。バラエティから情報系まで4000本以上の番組構成を担当						
授業の学習内容	【アイデアの作り方】アイデアは「浮かぶ」ものじゃない。「作る」ものだということを体験的に学ぶ						
到達目標	アイデアが次々浮かぶ「アイデア脳」に鍛えあげるトレーニングジム。 TV番組や映画、動画を例に自分の脳内にあるアイデアにアプローチする方法を体験＆反復し、いつでも取り出せるようにします						
評価方法と基準	出席率を第一とします。 積極性、やる気、発想力については加点します						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	授業の進行ガイダンス ・クイズ大会その1		前回授業の復習		
2		演習	クイズ大会その2		前回授業の復習		
3		演習	アイデアの種を集める		前回授業の復習		
4		演習	笑いの基本構造を知る①		前回授業の復習		
5		演習	笑いの基本構造を知る②		前回授業の復習		
6		演習	コミカル動画 撮影大会		前回授業の復習		
7		演習	企画テク①アレンジ法		前回授業の復習		
8		演習	企画テク②ミックス法		前回授業の復習		
9		演習	企画テク③ミックス法その2		前回授業の復習		
10		演習	体験①「グルメ企画」を考えてみた		前回授業の復習		
11		演習	体験②「人気動画シリーズ」企画を考えてみた		前回授業の復習		
12		演習	体験③「人気動画シリーズ」企画を考えてみた その2		前回授業の復習		
13		演習	企画テク③パッケージ法		前回授業の復習		
14		演習	企画テク③パッケージ法		前回授業の復習		
15		演習	コミカル動画 撮影大会2+前期復習テスト		前回授業の復習		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	番組・イベント企画(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	宮内見
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の経歴	放送作家歴35年目。バラエティから情報系まで4000本以上の番組構成を担当						
授業の学習内容	【アイデアの作り方】 アイデアは「浮かぶ」ものじゃない。「作る」ものだということを体験的に学ぶ						
到達目標	前期の続き及び、前期で学んだアイデアの作り方をベースに新しい「作り方」にチャレンジ。アイデアを作り出すための引き出しを増やす						
評価方法及び基準	出席率を第一とします。 積極性、やる気、発想力については加点します						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	授業の進行ガイダンス ・クイズ大会その1		前回授業の復習		
2		演習	企画テク ミックス法①		前回授業の復習		
3		演習	企画テク ミックス法②		前回授業の復習		
4		演習	企画テク ミックス法③		前回授業の復習		
5		演習	コミカル動画 撮影大会		前回授業の復習		
6		演習	企画テク 質問王になろう		前回授業の復習		
7		演習	企画テク もしも・・・		前回授業の復習		
8		演習	企画テク 限定法		前回授業の復習		
9		演習	企画テク ミックス法④		前回授業の復習		
10		演習	企画テク ミックス法⑤		前回授業の復習		
11		演習	コミカル動画 撮影大会その2		前回授業の復習		
12		演習	コミカル動画 撮影大会その3		前回授業の復習		
13		演習	体験 「人気動画シリーズ」企画を考えてみた		前回授業の復習		
14		演習	体験 「人気動画シリーズ」企画を考えてみたその2		前回授業の復習		
15		演習	体験 「人気動画シリーズ」企画を考えてみたその3		前回授業の復習		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	カメラワーク(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	大木スミオ
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	照明助手、撮影助手を経て1990年フリーの撮影監督として独立。JR東日本、サントリー、花王、ローソン、JRA、日本ハムなど、CMを中心に数多くの作品を担当。劇場公開作品として劇映画「日本の悲劇」「ハッピーメール」「ドキュメンタリー「幻を見るひと・京都の吉増剛造」」などがある。日本撮影監督協会所属。						
授業の学習内容	表現者及び表現を支える技術者の育成を目的とする。 プロフェッショナルの現場で最低限身につけていなければならない基礎知識と職業人としての基本的態度及び理念の習得を目指す。 映画撮影技術全般の座学及び実習。						
到達目標	基礎的知識及び技術の習得						
評価方法と基準	美的センスと表現スキル、応用力40% 出席率及び向上心30% 機材取り扱い等の習熟度・技術の理解度20% 協調性10% の割合で総合的判断を下す(やむを得ない欠席の場合、レポート提出を義務付ける)						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	概要説明／映像表現とは何か(カメラでできること)		前回授業の復習		
2		演習	監督たちの方法論／日本映画黄金期の監督とカメラマン		前回授業の復習		
3		演習	カメラとレンズの基礎知識		前回授業の復習		
4		演習	カメラとレンズの基礎知識		前回授業の復習		
5		演習	カメラの扱い方(1)／カメラの設置(グリップ)を中心に		前回授業の復習		
6		演習	カメラの扱い方(2)／カメラの設定・カメラメニューを使ってみる		前回授業の復習		
7		演習	フィルムからデジタルへ／映像の原理、カメラの仕組み、撮影機材など		前回授業の復習		
8		演習	撮影／白黒グレーの立方体を各同色バックで撮影してみる		前回授業の復習		
9		演習	照明と露出の関係／F値と倍率		前回授業の復習		
10		演習	色彩の研究		前回授業の復習		
11		演習	撮影／光を探して(オープン撮影)		前回授業の復習		
12		演習	フレーミング／構図と画角		前回授業の復習		
13		演習	フレーミング／構図と画角		前回授業の復習		
14		演習	画を繋ぐ／サイズを選択、アングル、カット割など		前回授業の復習		
15		演習	画を繋ぐ／サイズを選択、アングル、カット割など		前回授業の復習		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	カメラワーク(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	大木スミオ
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	照明助手、撮影助手を経て1990年フリーの撮影監督として独立。JR東日本、サントリー、花王、ローソン、JRA、日本ハムなど、CMを中心に数多くの作品を担当。劇場公開作品として劇映画「日本の悲劇」「ハッピーメール」「ドキュメンタリー「幻を見るひと・京都の吉増剛造」」などがある。日本撮影監督協会所属。						
授業の学習内容	表現者及び表現を支える技術者の育成を目的とする。 プロフェッショナルの現場で最低限身につけていなければならない基礎知識と職業人としての基本的態度及び理念の習得を目指す。 映画撮影技術全般の座学及び実習。						
到達目標	基礎的知識及び技術の習得						
評価方法と基準	美的センスと表現スキル、応用力40% 出席率及び向上心30% 機材取り扱い等の習熟度・技術の理解度20% 協調性10% の割合で総合的判断を下す(やむを得ない欠席の場合、レポート提出を義務付ける)						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	カメラワークの研究	前回授業の復習			
2		演習	繋がりを考えるシーンの組み立て	前回授業の復習			
3		演習	繋がりを考えるシーンの組み立て	前回授業の復習			
4		演習	光を作る	前回授業の復習			
5		演習	光を作る	前回授業の復習			
6		演習	作品の質を高めるために	前回授業の復習			
7		演習	作品の質を高めるために	前回授業の復習			
8		演習	オリジナル脚本『黒い箱』撮影① レンズ・ポジション・サイズの選択、撮影の進め方などを学ぶ。	前回授業の復習			
9		演習	オリジナル脚本『黒い箱』撮影② レンズ・ポジション・サイズの選択、撮影の進め方などを学ぶ。	前回授業の復習			
10		演習	『黒い箱』撮影③	前回授業の復習			
11		演習	『黒い箱』撮影④	前回授業の復習			
12		演習	『黒い箱』撮影⑤	前回授業の復習			
13		演習	『黒い箱』撮影⑥	前回授業の復習			
14		演習	『黒い箱』編集・ラッシュ試写	前回授業の復習			
15		演習	まとめ	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	スタジオワーク(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	高木 稔
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	(株)ニューテレスにて20数年間VEとして番組制作の最前線に携わる。 「はねるのトびら」「ものまね紅白」等、主にCXのバラエティ番組を中心に従事してきた、それ以外にもドラマ、映画、中継等にも携わる。						
授業の学習 内容	スタジオシステムを利用した放送・配信に必要な映像・音声技術の習得						
到達目標	カメラ・音声機材の基本的取り扱い・知識を身につける						
評価方法と基準	内容の理解度・習得意欲等の平常点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	スタジオレクチャー	前回授業の復習			
2		演習	音声① ゲーム音声MIX	前回授業の復習			
3		演習	カメラ① ゲーム撮影実践	前回授業の復習			
4		演習	音声② 朗読劇音声MIX実践	前回授業の復習			
5		演習	カメラ② 朗読劇撮影実践	前回授業の復習			
6		演習	音声③ ロケ実習(街頭インタビュー)	前回授業の復習			
7		演習	カメラ③ ロケ実習(学校紹介)	前回授業の復習			
8		演習	音声④ 歌ミキシング①	前回授業の復習			
9		演習	カメラ④ 歌カット割り①	前回授業の復習			
10		演習	音声⑤ 歌ミキシング②	前回授業の復習			
11		演習	カメラ⑤ 歌カット割り②	前回授業の復習			
12		演習	音声⑥ 歌ミキシング③	前回授業の復習			
13		演習	カメラ・音声合同 歌振り実習	前回授業の復習			
14		演習	カメラ・音声合同 歌振り実習	前回授業の復習			
15		演習	カメラ・音声合同 歌振り実習	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画&放送専門学校							

授業名	スタジオワーク(2)		必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	高木 稔
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	(株)ニューテレスにて20数年間VEとして番組制作の最前線に携わる。 「はねるのトびら」「ものまね紅白」等、主にCXのバラエティ番組を中心に従事してきた、それ以外にもドラマ、映画、中継等にも携わる。							
授業の学習 内容	スタジオシステムを利用した放送・配信に必要な映像・音声技術の習得							
到達目標	映像的には生もの対応力の向上、そのために必要な自主的なチームワーク力の向上 音声的にはPAを含む音声システム構築に対する理解を深めミキシング力の向上を目指す							
評価方法と基準	内容の理解度・習得意欲等の平常点							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	後期授業オリエンテーション			前回授業の復習		
2		演習	カメラ① ステージ撮影実践(プレゼン)			前回授業の復習		
3		演習	音声① 音声ミキシング 複数人トーク①			前回授業の復習		
4		演習	音声② 音声ミキシング 複数人トーク②			前回授業の復習		
5		演習	カメラ② ステージ撮影実践(パフォーマンス)			前回授業の復習		
6		演習	音声③ 音声ミキシング 複数人トーク③			前回授業の復習		
7		演習	カメラ③ ステージ撮影実践(パフォーマンス+審査員)			前回授業の復習		
8		演習	音声④ 音声ミキシング 中継掛け合い			前回授業の復習		
9		演習	カメラ④ ステージ撮影実践まとめ			前回授業の復習		
10		演習	音声⑤ 音声ミキシング 実況・解説			前回授業の復習		
11		演習	カメラ⑤ ステージ撮影実践まとめ			前回授業の復習		
12		演習	カメラ⑤ ステージ撮影実践まとめ			前回授業の復習		
13		演習	カメラ・音声合同 総括①			前回授業の復習		
14		演習	カメラ・音声合同 総括②			前回授業の復習		
15		演習	カメラ・音声合同 総括②			前回授業の復習		
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。								
東京俳優・映画＆放送専門学校								

授業名	ステージワーク(1)		必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	林之弘
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	(株)六工房 代表取締役 (公社)日本照明家協会常務理事 全国テレビ舞台照明事業者組合理事							
授業の学習 内容	舞台照明の基本的な機材知識からオペレート技術までを座学と実習で学ぶ							
到達目標	学校機材を使い、仕込～卓オペレートができる							
評価方法と基準	出席率・授業態度・まとめのテストによりA～D判定							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	前期到達目標共有、安全作業について			前回授業の復習		
2		演習	8Fスタジオ機材と設備を知る			前回授業の復習		
3		演習	舞台照明の基本仕込①吊り込み			前回授業の復習		
4		演習	舞台照明の基本仕込①吊り込み 復習			前回授業の復習		
5		演習	舞台照明の基本仕込②配線			前回授業の復習		
6		演習	舞台照明の基本仕込②配線 復習			前回授業の復習		
7		演習	舞台照明の基本仕込③パッチ			前回授業の復習		
8		演習	舞台照明の基本仕込③パッチ 復習			前回授業の復習		
9		演習	舞台照明の基本仕込④フォーカス			前回授業の復習		
10		演習	舞台照明の基本仕込④フォーカス 復習			前回授業の復習		
11		演習	舞台照明の基本操作 ビンスポット			前回授業の復習		
12		演習	舞台照明の基本操作 ビンスポット			前回授業の復習		
13		演習	舞台照明の基本操作 ビンスポット			前回授業の復習		
14		演習	前期まとめテスト			前回授業の復習		
15		演習	作品鑑賞(映像使用)			前回授業の復習		
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。								
東京俳優・映画＆放送専門学校								

授業名	ステージワーク(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	林之弘
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	(株)六工房 代表取締役 (公社)日本照明家協会常務理事 全国テレビ舞台照明事業者組合理事						
授業の学習 内容	職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につけ、現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	舞台照明の専門基礎知識を習得する						
評価方法と基準	出席率・授業態度・まとめのテストによりA～D判定						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	職業としての照明家(授業目標)	前回授業の復習			
2		演習	ホール・劇場を知る	前回授業の復習			
3		演習	ホール・劇場を知る (DVD映像使用)	前回授業の復習			
4		演習	照明機器①フラッドライト、スポットライト	前回授業の復習			
5		演習	照明機器②プロファイルスポット、ノンレンズスポット、パーライト	前回授業の復習			
6		演習	照明機器③ムービングライト、効果機	前回授業の復習			
7		演習	照明機器④アクセサリ・スモーク・インカム	前回授業の復習			
8		演習	電球とフィルター	前回授業の復習			
9		演習	光と色について	前回授業の復習			
10		演習	電気知識・ケーブル知識	前回授業の復習			
11		演習	舞台公演研究	前回授業の復習			
12		演習	舞台公演研究	前回授業の復習			
13		演習	舞台公演仕込み	前回授業の復習			
14		演習	舞台公演仕込み	前回授業の復習			
15		演習	舞台公演仕込み	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	ライティング(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	橘宮信
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	1980年から富田邦次氏に師事し、テレビコマーシャルの現場で照明助手として活動始める。下記代表作 『チーム・バチスタの栄光』(中村義洋監督・2008) 『ハナミズキ』(土井裕泰監督・2010) 『実相寺昭雄の世界“ウルトラマン創作秘話”』(高橋巖 監督・2022) ゆうちょ銀行「定額貯金」TV-CM KIRIN「チューハイ・ピタース」TV-CM サントリー「鏡月」シリーズ TV-CM 他多数						
授業の学習 内容	最新映像の光割りを基礎から学べる授業。光の3原色、色のフィルム撮影、4K、8Kデジタル撮影の基本ライティング技法の習得						
到達目標	光と色の成り立ちから、映像に必要な不可欠な照明技術の基礎を学習、習得						
評価方法と基準	積極性と表現スキル、応用力40％ 出席率及び向上心30％ 機材取り扱い等の習熟度・技術の理解度20％ 協調性10％ の割合で総合的判断を下す						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	ライティングの目的	前回授業の復習			
2		演習	照明機材の紹介と取り扱い方(村越氏)	前回授業の復習			
3		演習	露出計とカラーメーター(杉山氏)	前回授業の復習			
4		演習	色温度について	前回授業の復習			
5		演習	色温度について	前回授業の復習			
6		演習	加色法・補色の説明	前回授業の復習			
7		演習	電源について・照明機材の取り扱いなど	前回授業の復習			
8		演習	スタジオライティングの基礎 (三点照明)	前回授業の復習			
9		演習	人物ライティングの実践① スタジオ内	前回授業の復習			
10		演習	人物ライティングの実践② 校内ロケ	前回授業の復習			
11		演習	人物ライティングの実践③ 校内ロケ	前回授業の復習			
12		演習	野外撮影の実践①	前回授業の復習			
13		演習	野外撮影の実践②	前回授業の復習			
14		演習	野外撮影の実践③	前回授業の復習			
15		演習	前期の復習とテスト	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	ライティング(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	構宮信
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の略歴	1980年から富田邦次氏に師事し、テレビコマーシャルの現場で照明助手として活動を始める。下記代表作 『チーム・バチスタの栄光』(中村義洋監督・2008) 『ハナミズキ』(土井裕泰監督・2010) 『実相寺昭雄の世界“ウルトラマン創作秘話”』(高橋巖 監督・2022) ゆうちょ銀行「定額貯金」TV-CM KIRIN「チューハイ・ピターズ」TV-CM サントリー「鏡月」シリーズ TV-CM 他多数						
授業の学習内容	最新映像の光創りを基礎から学べる授業。光の3原色、色のフィルム撮影、4K、8Kデジタル撮影の基本ライティング技法の習得						
到達目標	光と色の成り立ちから、映像に必要な不可欠な照明技術の基礎を学習、習得						
評価方法と基準	脚本を読み込んで、ロケハンの場所やフレーム・サイズをイメージ出来ているか。 脚本に沿ったライティングプランを組み立てることが出来たか。ライティング中の機材の取扱が基本に沿っているか？						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	挨拶と後期授業の説明 撮影と照明の関係を説明する		前回授業の復習		
2		演習	季節の表現方法1 夏 ①ロケハン・下絵撮影		前回授業の復習		
3		演習	季節の表現方法1 夏 ①ロケハン・下絵撮影		前回授業の復習		
4		演習	季節の表現方法 夏 ②スタジオでのライティング		前回授業の復習		
5		演習	季節の表現方法 夏 ②スタジオでのライティング		前回授業の復習		
6		演習	季節の表現方法 夏 ②スタジオでのライティング		前回授業の復習		
7		演習	DMXの基礎		前回授業の復習		
8		演習	季節の表現方法2 秋 ①ロケハン・下絵撮影		前回授業の復習		
9		演習	季節の表現方法 秋 ②スタジオでのライティング		前回授業の復習		
10		演習	ライティングの基本①静物 生花、果物、酒など。		前回授業の復習		
11		演習	名作映画の試写		前回授業の復習		
12		演習	季節の表現方法3 冬 ①ロケハン・下絵撮影		前回授業の復習		
13		演習	季節の表現方法 冬 ②スタジオでのライティング		前回授業の復習		
14		演習	季節の表現方法 冬 ③スタジオでのライティング		前回授業の復習		
15		演習	後期授業のまとめ		前回授業の復習		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画&放送専門学校							

授業名	映像編集(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	鈴木良高
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の略歴	2007年～2010年まで株式会社オムニバス・ジャパンCG/編集科に所属。2010年より独立し現在に至る。 2010年以降は自社で映像に関するプリプロ・プロダクション・ポストプロダクションの一貫した業務を行う。						
授業の学習内容	映像編集に関するビデオの知識の学習とMacOSを使用した編集の技術習得を目的とする。 映像編集を行うにはディレクションの他にカメラの種類や記録媒体、パソコン(授業の場合Mac)の基礎的な知識が必要となる。 それに加え実際の編集アプリケーションの使用法の習得が必要となるの1コマの前半は座学での知識習得や技術方法の習得、後半に学習した内容の実践を実技形式で行う。						
到達目標	Final Cut Proの技術習得 素材の取り込みから書き出し						
評価方法と基準	出席率と授業への姿勢、進捗状況 学期末に行う実技テストの点数						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	PC基礎 スマホやタブレットとの違い、タイピングなど	前回授業の復習			
2		演習	MacOSの操作方法 Windowsとの違いやファイル管理方法	前回授業の復習			
3		演習	動画編集とは？ 編集概念や FinalCutでBGMに合わせてスライドショーの編集	前回授業の復習			
4		演習	編集基礎① 動画素材を読み込み、ブレードツールで不要な箇所のカット編集	前回授業の復習			
5		演習	編集基礎② 動画素材を読み込み、簡単なカット編集をする	前回授業の復習			
6		演習	動画編集実践① セリフや内容に合わせた動画編集を行う	前回授業の復習			
7		演習	動画編集実践② 前週の内容の続き、項目ごとに説明をしながら進めていく	前回授業の復習			
8		演習	動画編集実践③ 前週の内容の続き、項目ごとに説明をしながら進めていく	前回授業の復習			
9		演習	動画編集応用① 様々なツールを使用した動画編集の応用	前回授業の復習			
10		演習	動画編集応用② オーディオをメインとした編集方法	前回授業の復習			
11		演習	動画編集応用③ エフェクトやトランジションを使用した映像の装飾	前回授業の復習			
12		演習	動画編集応用④ 複数のカメラで撮影された素材のマルチカメラ編集	前回授業の復習			
13		演習	仕上げ 編集を終えた作品の書き出し方法と総復習	前回授業の復習			
14		演習	仕上げ 編集を終えた作品の書き出し方法と総復習	前回授業の復習			
15		演習	編集実技テスト(前期)	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	映像編集(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	鈴木良高
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	2007年～2010年まで株式会社オムニバス・ジャパンCG/編集科に所属。2010年より独立し現在に至る。 2010年以降は自社で映像に関するプリプロ・プロダクション・ポストプロダクションの一貫した業務を行う。						
授業の学習 内容	映像編集に関するビデオの知識の学習とMacOSを使用した編集の技術習得を目的とする。 映像編集を行うにはディレクションの他にカメラの種類や記録媒体、パソコン(授業の場合Mac)の基礎的な知識が必要となる。 それに加え実際の編集アプリケーションの使用法の習得が必要となるので1コマ目の前半は座学での知識習得や技術方法の習得、 後半に学習した内容の実践を実技形式で行う。						
到達目標	Premiere Proの技術習得 自分の作品(デモリール)の作成						
評価方法と基準	出席率と授業への姿勢、進捗状況 学期末に行う実技テストの点数						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	プレミアとは？FinalCutProとの違い	前回授業の復習			
2		演習	撮影素材の取り込みとパソコンでの素材管理、名前付け、管理方法	前回授業の復習			
3		演習	タイムラインでの実際の編集方法の基礎を学ぶ①	前回授業の復習			
4		演習	タイムラインでの実際の編集方法の基礎を学ぶ②	前回授業の復習			
5		演習	タイムラインでの実際の編集方法の基礎を学ぶ③	前回授業の復習			
6		演習	タイムラインでの実際の編集方法の基礎を学ぶ④	前回授業の復習			
7		演習	タイムライン応用 実践的なツールの紹介と実習	前回授業の復習			
8		演習	アニメーション プレミア内でのキーフレームアニメーションの方法	前回授業の復習			
9		演習	プレミア内でのオーディオの編集	前回授業の復習			
10		演習	プレミアでのエフェクトの適用方法と活用	前回授業の復習			
11		演習	プレミアでの合成(クロマキー)とブレンドモード	前回授業の復習			
12		演習	カラーコレクションの基本と応用	前回授業の復習			
13		演習	プレミアでのタイトルの作成方法と編集	前回授業の復習			
14		演習	Adobe他ソフトとの連携 プレミアでの動画書き出し方法とMediaEncoderへの送信方法	前回授業の復習			
15		演習	Adobe他ソフトとの連携 プレミアでの動画書き出し方法とMediaEncoderへの送信方法	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	音声技術(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	高木稔
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)		
教員の略歴	(株)ニューテレスにて20数年間VEとして番組制作の最前線に携わる。 「はねるのトびら」「ものまね紅白」等、主にCXのバラエティ番組を中心に従事してきた、それ以外にもドラマ、映画、中継等にも携わる。						
授業の学習 内容	学校にある映像・音声機材の取り扱い、オペレーターの基礎を習得し作品制作に活用できる最低限の知識、技術を習得						
到達目標	カメラ・音声機材の基本的取り扱い・知識を身につける						
評価方法と基準	内容の理解度・習得意欲等の平常点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	音声① ガイダンス・録音機材説明・取り扱い		前回授業の復習		
2		演習	映像① ガイダンス・撮影機材説明・取り扱い		前回授業の復習		
3		演習	音声② ガンマイクテクニック基礎①(かまえ方・ポジション)		前回授業の復習		
4		演習	映像② 撮影テクニック基礎①(三脚、ズーム、フォーカス)		前回授業の復習		
5		演習	音声③ガンマイクテクニック基礎 ②(セリフ録音実践)		前回授業の復習		
6		演習	カメラ③撮影テクニック基礎②(手持ち撮影)		前回授業の復習		
7		演習	音声④ ピンマイクテクニック(仕込み方等)		前回授業の復習		
8		演習	カメラ④撮影テクニック(アイリス・ホワイト・カメラの機能等)		前回授業の復習		
9		演習	音声⑤撮影アングルに対するマイクポジションテクニック		前回授業の復習		
10		演習	カメラ⑤撮影実践		前回授業の復習		
11		演習	音声⑥ロケテクニック(風雨、環境音対策等)		前回授業の復習		
12		演習	音声⑥ロケテクニック(風雨、環境音対策等)		前回授業の復習		
13		演習	カメラ・音声合同 ロケ実践		前回授業の復習		
14		演習	カメラ・音声合同 ロケ実践		前回授業の復習		
15		演習	カメラ・音声合同 ロケ実践		前回授業の復習		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画&放送専門学校							

授業名	音声技術(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	高木稔
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)		
教員の略歴	(株)ニューテレスにて20数年間VEとして番組制作の最前線に携わる。 「はねるのトびら」「ものまね紅白」等、主にCXのバラエティ番組を中心に従事してきた、それ以外にもドラマ、映画、中継等にも携わる。						
授業の学習 内容	学校にある映像・音声機材の取り扱い、オペレーターの基礎を習得し作品制作に活用できる最低限の知識、技術を習得						
到達目標	学生のみで最低限のスタジオシステム・配信システムを構築し実践でき 初歩的なマルチカメラ撮影・SWスキル、音声MIXスキルの習得						
評価方法と基準	内容の理解度・習得意欲等の平常点						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	配信映像・音声システムの組み方	前回授業の復習			
2		演習	カメラ① スタジオ映像システム説明～カメラ組立	前回授業の復習			
3		演習	音声① ミキシング実践 複数人トーク①	前回授業の復習			
4		演習	音声② ミキシング実践 複数人トーク②	前回授業の復習			
5		演習	カメラ② SW+カメラ実践 複数人トーク①	前回授業の復習			
6		演習	カメラ② SW+カメラ実践 複数人トーク①	前回授業の復習			
7		演習	カメラ③ SW+カメラ実践 複数人トーク②	前回授業の復習			
8		演習	音声③ ミキシング実践 ゲーム+実況	前回授業の復習			
9		演習	カメラ④ SW+カメラ実践 ゲーム+実況	前回授業の復習			
10		演習	音声④ ミキシング実践 中継掛け合い	前回授業の復習			
11		演習	カメラ⑤ SW+カメラ実践 中継掛け合い	前回授業の復習			
12		演習	カメラ・音声合同 SW+カメラ・ミキシング実践まとめ① 教室変更	前回授業の復習			
13		演習	カメラ・音声合同 SW+カメラ・ミキシング実践まとめ② 教室変更	前回授業の復習			
14		演習	音声⑤ おさらい	前回授業の復習			
15		演習	音声⑤ おさらい	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画&放送専門学校							

授業名		台本制作(1)		必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	平柳益実
学科・専攻		総合芸術科(昼間部二)		授業形態	演習	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の略歴		1980年、大学在学中に石井聰互らと『狂い咲きサンダーロード』の脚本を執筆。以降、『まんが日本昔ばなし』、『シティハンター』、『飛べ！ イサミ』、『ふるさと再生 日本のお話』等TVアニメ脚本等、ゲーム、マンガ原作など執筆。シナリオコンクール審査員、日本脚本家連盟、日本放送作家協会会員。日本アカデミー協会会員。							
授業の学習内容		SNSの投稿ビデオを意識しながら、心に残る映像の魅力を探ります。シナリオ執筆未経験の学生対象として、個々のクリエイターが、それぞれの映像世界を生み出す設計図を構築していくためのテーマ、ストーリー、キャラクター創造の技法を考えていきます。シナリオ執筆経験者には、より高度な課題を提案します。適宜、新旧の名作問題作をセレクト・鑑賞してそこに秘められた技法を探っていきます。							
到達目標		名作・話題作の作品分析。基本的なシナリオ作法と並行して、後期終了までにオリジナルシナリオ完成を視野に入れ、その準備を勧めます。自分の中にある「伝えたい」思いを、可能な手段を駆使してどうシナリオの形にするか試みていきます。							
評価方法及び基準		○授業参加への意欲。○ ○他の学生や講師への自分のイメージをうまく伝える技術。○ ○課題作品への取り組み方○							
授業計画・内容									
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	各学生の自己紹介。印象的な映像との出会い。これからどんな作品を作っていきたいか			前回授業の復習			
2		演習	ガイダンス:シナリオの基本① ○脚本とはなに？ ○どう書くの？ 必要な要素、脚本の基本を知る			前回授業の復習			
3		演習	シナリオの基本② ○テーマの発想について ○何を映像化するか			前回授業の復習			
4		演習	シナリオの基本③○三幕構成のステージ○キャラクターのアーキタイプ○ストーリー作成チャートの書込み ○創作カードの紹介			前回授業の復習			
5		演習	シナリオの基本④ ○ストーリー作成チャート発表			前回授業の復習			
6		演習	シナリオの基本⑤ ○感動の本質と心の成長(成長階層・キャラクターアーク)について			前回授業の復習			
7		演習	シナリオの基本⑥ ○セリフの発展 ○伏線・小道具のその回収方法			前回授業の復習			
8		演習	課題テーマを書く① ○共通課題のテーマについてストーリー発表			前回授業の復習			
9		演習	課題テーマを書く② ○共通課題のテーマについてシナリオを書く			前回授業の復習			
10		演習	課題テーマを書く③ ○共通課題の完成シナリオの発表			前回授業の復習			
11		演習	オリジナル・ストーリーを作る① ○優れたショート・ムービーの鑑賞&分析、多様性) ○街の中にドラマを見つける			前回授業の復習			
12		演習	オリジナル・ストーリー(短篇)を作る② ○オリジナル・ストーリーの発表			前回授業の復習			
13		演習	オリジナル・シナリオ(短篇) 構成を書く③ ○オリジナル・シナリオの構成作成			前回授業の復習			
14		演習	オリジナル・シナリオ(短篇) 構成を書く④ ○オリジナル・シナリオの構成作成			前回授業の復習			
15		演習	オリジナル・シナリオ(短篇) 構成を書く⑤ ○オリジナル・シナリオの構成作成			前回授業の復習			
準備学習 時間外学習									
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。									
東京俳優・映画＆放送専門学校									

授業名	台本制作(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	平柳益実
		授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・専攻	総合芸術科(昼間部2)						
教員の略歴	1980年、大学在学中に石井聰互らと『狂い咲きサンダーロード』の脚本を執筆。以降、『まんが日本昔ばなし』、『シティハンター』、『飛べ！ イサミ』、『ふるさと再生 日本の昔ばなし』等TVアニメ脚本等、ゲーム、マンガ原作など執筆。シナリオコンクール審査員、日本脚本家連盟、日本放送作家協会会員。日本アカデミー賞協会会員。						
授業の学習 内容	SNSの投稿ビデオを意識しながら、心に残る映像の魅力を探ります。シナリオ執筆未経験者の学生対象として、個々のクリエイターが、それぞれの映像世界を生み出す設計図を構築していくためのテーマ、ストーリー、キャラクター創造の技法を考えていきます。シナリオ執筆経験者には、より高度な課題を提案します。適宜、新旧の名作問題作をセレクト・鑑賞してそこに秘められた技法を探っていきます。						
到達目標	前期にスタートした作品を振り返り検証し、問題点・工夫の余地を見つけ改善しながら後期の執筆作業に反映させます。執筆の進行にスピードの差も出ますが、後期終了までに完成した作品は推敲を、未完の作品は今後も継続できる形にまで仕上げて行きたいと思います。						
評価方法と基準	○授業参加への意欲。□ ○他の学生や講師への自分のイメージをうまく伝える技術。□ ○課題作品への取り組み方□						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	前期の成果を客観的に評価する。 問題点の洗い直し。テーマの再確認。		前回授業の復習		
2		演習	推敲の方法を考える。 敵によって生じた影響を考える。		推	前回授業の復習	
3		演習	キャラクターについて考える。 似通ったキャラクター。足りないキャラクター。		前回授業の復習		
4		演習	キャラクターの登場と退場そして再登場。		前回授業の復習		
5		演習	ストーリーの転換点について。		前回授業の復習		
6		演習	ストーリーの転換点について。		前回授業の復習		
7		演習	クライマックスの設定。		前回授業の復習		
8		演習	クライマックスの設定。		前回授業の復習		
9		演習	エンディングについて。		前回授業の復習		
10		演習	小説の結末と映画の結末。		前回授業の復習		
11		演習	続編の世界。		前回授業の復習		
12		演習	スピン・オフについて。		前回授業の復習		
13		演習	後日談。		前回授業の復習		
14		演習	どこでストーリーを終えるか？		前回授業の復習		
15		演習	決定稿とは？		前回授業の復習		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画&放送専門学校							

授業名	マネジメントワーク(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	井上勝馬
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	1990～1996 劇団東俳 演出・制作部 1996～2007 同 マネージメント部 2008～2025 有限会社えりオフィス (波岡一喜 マネージメント担当)						
授業の学習内容	「主にエンタメ業界を中心に、広く社会に対応していくための心構え・知識・技術を学ぶ」 ■前半は「人を通して人を扱う」という考え方にに基づき、リスペクト&コミュニケーションをテーマに会話(トーク)力を磨いていきます ■後半は前半で培ったコミュニケーション力を実際の営業や現場での活動に活用できるよう実習をしていきます						
到達目標	■広く社会で活躍する職業人としての意識を高めマナーや技術を身に付ける ■様々な年代・多様な価値観をもつ相手と円滑なコミュニケーションがとれるようになる						
評価方法及び基準	出席率と授業への姿勢、進捗状況 学期末に行う実技テストの点数						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	レッスン概要説明 ーリスペクト&コミュニケーションの重要性 ※エンタメ界は、幅広い年代・多様な価値観を持った人たちとの接点にいて業界です	前回授業の復習			
2		演習	コミュニケーション①ー挨拶と見た目「第一印象」の重要性 ※人の印象は最初の5秒で決まる！ 挨拶はただのルールではありません！	前回授業の復習			
3		演習	コミュニケーション②ー「信頼と責任」について ※時間管理・健康管理・社会人として信頼を得ることの重要性	前回授業の復習			
4		演習	コミュニケーション③ー自分シートで自分の「いいところ」を知る ※資格や特技だけではなく、自分の「いいところ」を知り 自己PRをしてみる	前回授業の復習			
5		演習	コミュニケーション④ー「自分の“好き”と他人の“好き”を知る」 ※コミュニケーションの第一歩は「自分の好きを表現し、他人の好きに興味を持つこと」	前回授業の復習			
6		演習	コミュニケーション⑤ー取材～他己紹介 ※自分以外の人(作品・商品)に興味をもつこと、相手を知る努力をすることの重要性について	前回授業の復習			
7		演習	コミュニケーション⑥ー取材～他己紹介 ※自分以外の人(作品・商品)に興味をもつこと、相手を知る努力をすることの重要性について	前回授業の復習			
8		演習	コミュニケーション⑦＋業界基礎知識・作品研究 ※自分の「好き」を多ジャンルに広げる(話題の多様化に備える)ー作品レポート&プレゼン	前回授業の復習			
9		演習	コミュニケーション⑧＋業界基礎知識・作品研究 ※自分の「好き」を多ジャンルに広げる(話題の多様化に備える)ー作品レポート&プレゼン	前回授業の復習			
10		演習	コミュニケーション⑨＋業界基礎知識・作品研究 ※自分の「好き」を多ジャンルに広げる(話題の多様化に備える)ー作品レポート&プレゼン	前回授業の復習			
11		演習	コミュニケーション⑩(応用)ー名刺交換から始まるコミュニケーション ※①～⑨の内容を踏まえ、ビジネス所作と組み合わせてトーク&模範営業)を体験	前回授業の復習			
12		演習	コミュニケーション⑪(応用)ー名刺交換から始まるコミュニケーション ※①～⑨の内容を踏まえ、ビジネス所作と組み合わせてトーク&模範営業)を体験	前回授業の復習			
13		演習	コミュニケーション まとめ	前回授業の復習			
14		演習	コミュニケーション まとめ	前回授業の復習			
15		演習	前期内容のプレゼン&レポート提出	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画&放送専門学校							

授業名	就職対策講座(1)		必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	岡政門
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)		授業形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	凡そ20年にわたり官公庁、自治体等の広報映像の演出・プロデュースに携わる。2006年(第1期生)より本校キャリアセンターにて進路指導を担当。							
授業の学習 内容	よりよい就職に向けての準備講座。 ○就職活動、内定獲得、適切な進路選択へのアドバイスと実践。 ○採用試験対策 ○ビジネスマナー、社会人マナー ○一般常識および専門常識の補足。 又、専攻外の関連分野、職種にも目を向け、マクロ的な視点で仕事を捉えるプロ意識を身につける。							
到達目標	業界研究・企業研究を進めつつ、社会人としての一般常識も学ぶ。早期の内定獲得。							
評価方法と基準	出席率、及び授業態度。							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義	「企業の本音」：映像資料を視聴し採用担当者の視点や考えを知る。採用側と就活学生との思いの違いを検証する			前回授業の復習		
2		講義	合同企業説明会ガイダンス:5/23実施の合同企業説明会の参加企業の研究。当日の訪問企業を決定する。			前回授業の復習		
3		講義	履歴書を作る:「志望動機」欄を中心に履歴書を作成する。FC TOKYO専用の履歴書を使用。その場でチェック・添削も行う。			前回授業の復習		
4		講義	合同企業説明会本番:ブースを訪問し内定につなげる。或いは業界情報を得て、就活に生かす。、			前回授業の復習		
5		講義	合同企業説明会本番:ブースを訪問し内定につなげる。或いは業界情報を得て、就活に生かす。、			前回授業の復習		
6		講義	時事講座①:ニュース解説。ジャーナリスト又は記者が昨今のニュースをわかりやすく解説。社会の出来事に目をむける。			前回授業の復習		
7		講義	時事講座①:ニュース解説。ジャーナリスト又は記者が昨今のニュースをわかりやすく解説。社会の出来事に目をむける。			前回授業の復習		
8		講義	会社の選び方:求人票の見方を再確認。企業の種類、保険制度の概要等も理解する。			前回授業の復習		
9		講義	会社の選び方:求人票の見方を再確認。企業の種類、保険制度の概要等も理解する。			前回授業の復習		
10		講義	租税教室:税金の仕組みや、給与から引かれる税金の種類など社会人として必要な知識を学ぶ。 国税局講師による。			前回授業の復習		
11		講義	租税教室:税金の仕組みや、給与から引かれる税金の種類など社会人として必要な知識を学ぶ。 国税局講師による。			前回授業の復習		
12		講義	ビジネスマナー:ビジネスシーでの敬語の正しい使い方を考える。また社会人として必要なマナーを例題を通して考える。			前回授業の復習		
13		講義	ビジネスマナー:ビジネスシーでの敬語の正しい使い方を考える。また社会人として必要なマナーを例題を通して考える。			前回授業の復習		
14		講義	時事講座②:ニュース解説。ジャーナリスト又は記者が昨今のニュースをわかりやすく解説。社会の出来事に目をむける。			前回授業の復習		
15		講義	時事講座②:ニュース解説。ジャーナリスト又は記者が昨今のニュースをわかりやすく解説。社会の出来事に目をむける。			前回授業の復習		
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。								
東京俳優・映画＆放送専門学校								

授業名	就職対策講座(2)		選択必修	年次	2	担当教員	岡政門
			講義	総時間 (単位)	60 (4単位)		
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)						
教員の略歴	凡そ20年にわたり官公庁、自治体等の広報映像の演出・プロデュースに携わる。2006年(第1期生)より本校キャリアセンターにて進路指導を担当。						
授業の学習内容	よりよい就職に向けての就活準備講座。 ○就職活動、内定獲得、適切な進路選択へのアドバイスと実践。 ○採用試験対策 ○ビジネスマナー、社会人マナー ○一般常識および専門常識の補足。又、専攻外の関連分野、職種にも目を向け、マクロ的な視点で仕事を捉えるプロ意識を身につける。						
到達目標	業界研究・企業研究を進めつつ、社会人としての一般常識も学ぶ。						
評価方法と基準	出席率、及び授業態度。						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		講義	就活準備:今後の就活スケジュールについて説明。必要な準備物、採用の流れなどを理解する。併せて基礎学力テストを実施。	前回授業の復習			
2		講義	履歴書①:サクセスノートを使いながら履歴書の書き方を学ぶ。FC TOKYO専用の履歴書が書けるようになる。	前回授業の復習			
3		講義	履歴書①:サクセスノートを使いながら履歴書の書き方を学ぶ。FC TOKYO専用の履歴書が書けるようになる。	前回授業の復習			
4		講義	企業研究:秋季合同企業説明会本番。業界各社の採用担当者による会社紹介、採用情報等の説明を直接受ける。	前回授業の復習			
5		講義	就活準備:現在、新卒者募集の主流となっている就活情報サイトを紹介。実際に登録を行い、使い方を体験する。	前回授業の復習			
6		講義	就活準備:現在、新卒者募集の主流となっている就活情報サイトを紹介。実際に登録を行い、使い方を体験する。	前回授業の復習			
7		講義	時事講座①:ジャーナリスト又は記者が時事問題をわかりやすく解説。社会の出来事に目を向ける習慣を身につける。	前回授業の復習			
8		講義	時事講座①:ジャーナリスト又は記者が時事問題をわかりやすく解説。社会の出来事に目を向ける習慣を身につける。	前回授業の復習			
9		講義	面接対策:入室と退席の基本実技。ロールプレイで面接の基本を実習する。	前回授業の復習			
10		講義	面接対策:入室と退席の基本実技。ロールプレイで面接の基本を実習する。	前回授業の復習			
11		講義	関連業界研究:音楽・レコード業界、特にコンサートの企画運営を中心に専門家が説明。音楽関連の職種と業務内容を理解する。	前回授業の復習			
12		講義	関連業界研究:音楽・レコード業界、特にコンサートの企画運営を中心に専門家が説明。音楽関連の職種と業務内容を理解する。	前回授業の復習			
13		講義	時事講座②:ジャーナリスト又は記者が時事問題をわかりやすく解説。社会の出来事に目を向ける習慣を身につける。	前回授業の復習			
14		講義	時事講座②:ジャーナリスト又は記者が時事問題をわかりやすく解説。社会の出来事に目を向ける習慣を身につける。	前回授業の復習			
15		講義	時事講座②:ジャーナリスト又は記者が時事問題をわかりやすく解説。社会の出来事に目を向ける習慣を身につける。	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	資格取得講座(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	星子駿光
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	フリーランスのVFXデザイナーを経て、2011年株式会社東京現像所へ入社。 映画・ドラマを中心にカラーリスト/DITとして活動。 2022年よりDI Factoryに所属。						
授業の学習 内容	事例研究・業界動向にフォーカス 各回で「失敗例」や「実際の業界資料」をベースに学ぶ ディスカッション型・ケーススタディ型で「考える授業」にする キャリアパスや業界動向を含めて「卒業後のリアル」をイメージできるようにする						
到達目標	ポストプロダクション全般の知識向上、知識だけでなく「考える力」「解決する力」を育てる 卒業後をイメージして、生徒自身のキャリアプランに役立てるようにする						
評価方法と基準	通常評価(80%)、課題評価(10%)、受講態度(10%)						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容		準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		講義	映画制作におけるポストプロダクションの流れ プロの業界で使用している主なソフトや機材		前回授業の復習		
2		講義	アナログとデジタルの歴史 フィルム・ビデオの時代からデジタルの世界へ		前回授業の復習		
3		講義	映像信号や規格など、デジタル技術の基礎知識		前回授業の復習		
4		講義	スタジオラボ入門編その① 「データ管理、DIT」について		前回授業の復習		
5		講義	スタジオラボ入門編その② 「オフライン編集」について		前回授業の復習		
6		講義	スタジオラボ入門編その③ 「VFX」について		前回授業の復習		
7		講義	スタジオラボ入門編その④ 「カラーグレーディング」について		前回授業の復習		
8		講義	スタジオラボ入門編その⑤ 「オンライン編集」について		前回授業の復習		
9		講義	スタジオラボ入門編その⑥ 「カラーグレーディング」について		前回授業の復習		
10		講義	スタジオラボ入門編その⑥ 「マスタリング」について		前回授業の復習		
11		講義	スタジオラボ中級編その① データマネジメントやワークフローについて ワークフローを構築してみよう		前回授業の復習		
12		講義	スタジオラボ中級編その② 映画、CM、ドラマ、ケース別のワークフローの作り方		前回授業の復習		
13		講義	スタジオラボ上級編その① 実際に映画ワークフローを体験 ～データ管理からオフライン編集まで～		前回授業の復習		
14		講義	スタジオラボ上級編その② 実際に映画ワークフローを体験 ～VFXからマスタリングまで～		前回授業の復習		
15		講義	スタジオラボ上級編その③ 実際に映画ワークフローを体験 ～VFXからマスタリングまで～		前回授業の復習		
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画&放送専門学校							

授業名	資格取得講座(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	星子駿光
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	講義	総時間(単位)	60(4単位)		
教員の略歴	フリーランスのVFXデザイナーを経て、2011年株式会社東京現像所へ入社。 映画・ドラマを中心にカリリスト/DITとして活動。 2022年よりDI Factoryに所属。						
授業の学習内容	「基礎を学んだ後期」として、応用・事例研究・業界動向にフォーカス 各回で「失敗例」や「実際の業界資料」をベースに学ぶ ディスカッション型・ケーススタディ型で「考える授業」にする キャリアパスや業界動向を含めて「卒業後のリアル」をイメージできるようにする						
到達目標	ポストプロダクション全般の知識向上、知識だけでなく「考える力」「解決する力」を育てる 卒業後をイメージして、生徒自身のキャリアプランに役立てるようにする						
評価方法と基準	通常評価(80%)、課題評価(10%)、受講態度(10%)						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義	第1回: ポスプロ現場の進行管理事例 ・映画・CM・MVの進行表を比較 ・実際のトラブル事例から学ぶ ・ディスカッション: 自分ならどう対応する?			前回授業の復習	
2		講義	第2回: データ運用とアーカイブ戦略 ・大規模プロジェクトのデータ管理 ・バックアップ・クラウド運用 ・Netflixなど海外案件のデータ受け渡し			前回授業の復習	
3		講義	第3回: クラウドネットワークとフィードバック対応 ・修正指示の伝達方法とトラブル事例 ・CMやMVで多いリメイク問題 ・ケーススタディ: 指示書の読み解き			前回授業の復習	
4		講義	第4回: 多様な納品フォーマット ・OTTと放送・劇場用の違い ・HDR・IMAX・DCPの特徴 ・QCで弾かれる典型例			前回授業の復習	
5		講義	第5回: 予算マネジメントの応用 ・ジャンル別予算配分とギアラのリアル ・見積書サンプルの読み方 ・ディスカッション: 低予算案件で何を優先するか?			前回授業の復習	
6		講義	第6回: 国際案件のワークフロー ・海外ポスプロとの違い ・言語・規格・納期の壁 ・字幕・フェス用納品の流れ			前回授業の復習	
7		講義	第7回: ポスプロと権利処理 ・音楽・映像素材の権利関係 ・MVや広告案件でのクリアランス ・トラブル事例から学ぶ			前回授業の復習	
8		講義	第8回: 新しい映像技術とポストプロ ・バーチャルプロダクション(LED Volume) ・AI編集やAIカラーリング ・今後求められるスキル			前回授業の復習	
9		講義	第9回: トラブルシューティング事例集 ・映像・音声のズレやデータ破損 ・試写や放送時の事故例 ・ディスカッション: その場でどうリカバーするか?			前回授業の復習	
10		講義	第10回: CMの応用ワークフロー ・実際の代理店案件の流れ ・修正対応と納期圧縮のリアル ・成功事例と失敗事例の比較			前回授業の復習	
11		講義	第11回: MVの応用ワークフロー ・低予算と短納期の現場 ・演出意図とリズム編集 ・配信プラットフォーム前提の仕上げ			前回授業の復習	
12		講義	第12回: DIT特別ゲスト講義(予定) ・DITの役割とポスプロとの接点 ・トラブル事例と解決法 ・キャリアと業界のリアル、質疑応答セッション			前回授業の復習	
13		講義	第13回: 総合まとめとキャリアデザイン ・前期(基礎)・後期(応用)で学んだ内容を整理 ・ポストプロでのキャリアパス(編集・MA・カラー・VFX・DIT) ・フリーランス vs 企業所属の働き方			前回授業の復習	
14		講義	第14回: 最終課題制作(ラボ形式) ・各自の作品を個別に仕上げる作業日 ・先生が巡回して技術的サポート ・学生同士のピアレビュー			前回授業の復習	
15		講義	第15回: 最終上映会 & 講評 ・完成作品を上映・発表 ・制作意図とルック選択のプレゼン ・講評+総まとめ(ポートフォリオ活用の提案)			前回授業の復習	
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画・放送専門学校							

授業名	業界研修(1)	必修選択	選択必修	年次	4	担当教員	岡政門
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	実技・実習	総時間 (単位)	240 (8単位)		
教員の略歴	凡そ20年にわたり官公庁、自治体等の広報映像の演出・プロデュースに携わる。2006年(第1期生)より本校キャリアセンターにて進路指導を担当。						
授業の学習 内容	よりよい就職に向けての準備講座。 ○就職活動、内定獲得、適切な進路選択へのアドバイスと実践。 ○採用試験対策 ○ビジネスマナー、社会人マナー ○一般常識および専門常識の補足。 又、専攻外の関連分野、職種にも目を向け、マクロ的な視点で仕事を捉えるプロ意識を身につける。						
到達目標	業界研究・企業研究を進めつつ、社会人としての一般常識も学ぶ。早期の内定獲得。						
評価方法と基準	出席率、及び授業態度。						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		実技・実習	業界研究・映画、放送、 広告業界の仕組み→映像業界の幅広い知識	前回授業の復習			
2		実技・実習	映画、放送、広告業界の仕組み→ 広告業界との絡み	前回授業の復習			
3		実技・実習	目指す職業の研究→ 仕事の内容	前回授業の復習			
4		実技・実習	目指す職業の研究→ 具体的な企業名	前回授業の復習			
5		実技・実習	様々な分野と職種の研究→ メディア別、ジャンル別、企業の形態別	前回授業の復習			
6		実技・実習	短期研修に参加	前回授業の復習			
7		実技・実習	短期研修に参加	前回授業の復習			
8		実技・実習	短期研修に参加	前回授業の復習			
9		実技・実習	社会の動き、一般常識、社会人としての常識→ 社会人としての自覚	前回授業の復習			
10		実技・実習	社会の動き、一般常識、 業界人としての常識 → 服装や態度新聞を読む	前回授業の復習			
11		実技・実習	業界の仕組み、業界、現場のルール	前回授業の復習			
12		実技・実習	業界の仕組み、業界、現場のルール	前回授業の復習			
13		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
14		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
15		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	業界研修(2)	必修選択	選択必修	年次	4	担当教員	岡政門
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	実技・実習	総時間 (単位)	240 (8単位)		
教員の略歴	凡そ20年にわたり官公庁、自治体等の広報映像の演出・プロデュースに携わる。2006年(第1期生)より本校キャリアセンターにて進路指導を担当。						
授業の学習 内容	よりよい就職に向けての就活準備講座。 ○就職活動、内定獲得、適切な進路選択へのアドバイスと実践。 ○採用試験対策 ○ビジネスマナー、社会人マナー ○一般常識および専門常識の補足。又、専攻外の関連分野、職種にも目を向け、マクロ的な視点で仕事を捉えるプロ意識を身につける。						
到達目標	業界研究・企業研究を進めつつ、社会人としての一般常識も学ぶ。						
評価方法と基準	出席率、及び授業態度。						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		実技・実習	業界研究 映画、放送、広告業界の仕組み	前回授業の復習			
2		実技・実習	業界研究 目指す職業の研究	前回授業の復習			
3		実技・実習	業界研究 様々な分野と職種の研究	前回授業の復習			
4		実技・実習	業界研究 社会の動き、一般常識	前回授業の復習			
5		実技・実習	作品集(ポートフォリオ)の更新	前回授業の復習			
6		実技・実習	作品集(ポートフォリオ)の更新	前回授業の復習			
7		実技・実習	履歴書の見直し	前回授業の復習			
8		実技・実習	履歴書の見直し	前回授業の復習			
9		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
10		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
11		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
12		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
13		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
14		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
15		実技・実習	就職を前提とした研修 (インターンシップ)	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名		プレゼン／プロモーション(1)		必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	内藤 裕太
学科・専攻		総合芸術科(昼間部二)		授業形態	実技・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴		博報堂プロダクツやフリーランスの映像クリエイターを経てジョイン。人事領域も経験しながら、現在は新規コンテンツの企画・ディレクションを主に担う。							
授業の学習 内容		映像コンテンツの企画立案・予算・スケジュール・プレゼンテーション、プロデューサー、マーケティング、プロモーションと基礎知識を学びます							
到達目標		プロジェクトの完遂							
評価方法と基準		学期末に各課題内容を採点し総合的に判断							
授業計画・内容									
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		実技・演習	イントロダクション ・自己紹介(講師) ・授業内容の説明 ・アンケート ・映画プレゼン大会 ・授業のテーマと目的 ・評価方法 ・プロデューサーとは？			前回授業の復習			
2		実技・演習	プロデューサーの仕事に関して ・プロデューサーのワークフローツール			前回授業の復習			
3		実技・演習	日本映画と映像業界について ・今後の日本映画と映像業界についてディスカッションする			前回授業の復習			
4		実技・演習	日本と海外の映画祭について知る			前回授業の復習			
5		実技・演習	XR(VR・AR・MR)の業界と体験			前回授業の復習			
6		実技・演習	プロジェクト始動(ブリーフィング)			前回授業の復習			
7		実技・演習	プロジェクト(企画)			前回授業の復習			
8		実技・演習	プロジェクト(企画)			前回授業の復習			
9		実技・演習	プロジェクト(スケジュール)			前回授業の復習			
10		実技・演習	プロジェクト(スタッフニング・予算)			前回授業の復習			
11		実技・演習	プロジェクト(マーケティングプランの立案)			前回授業の復習			
12		実技・演習	プロジェクト(プロモーション)			前回授業の復習			
13		実技・演習	プレゼンテーション			前回授業の復習			
14		実技・演習	プレゼンテーション			前回授業の復習			
15		実技・演習	プレゼンテーション			前回授業の復習			
準備学習 時間外学習									
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。									
東京俳優・映画＆放送専門学校									

授業名	プレゼン／プロモーション(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	内藤 裕太
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	実技・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	博報堂プロダクツやフリーランスの映像クリエイターを経てジョイン。人事領域も経験しながら、現在は新規コンテンツの企画・ディレクションを主に担う。						
授業の学習 内容	映像プロデュースの基礎をディスカッションを通じて学んでいきます。主に各業界を知ることからはじめて企画書の作成やプレゼンテーションに焦点を当てながら進めていく予定です。 プロデュースには「正解」が存在しません。ジャンルによって方法が異なるだけでなく、誰も挑戦したことのないことを行う際には、新たな道を自ら切り開く必要があります。 プロデュースとは何か、プロデューサーとはどのような役割かを、皆さんと一緒に探りながら、実践形式で取り組んでいきたいと思います。						
到達目標	プロジェクトの完遂						
評価方法と基準	学期末に各課題内容を採点し総合的に判断						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		実技・演習	・イントロダクション ・プロデューサーとディレクターの違い ・授業内容の説明 ・評価方法 ・アンケート ・プロデューサーとは？	前回授業の復習			
2		実技・演習	・プロデューサーに関して ・各業界のプロデューサーの役目を考える ・実例をもとにディスカッションをする	前回授業の復習			
3		実技・演習	TV業界・MVJについて	前回授業の復習			
4		実技・演習	TV業界・MVJについて	前回授業の復習			
5		実技・演習	広告業界・SNS業界について	前回授業の復習			
6		実技・演習	広告業界・SNS業界について	前回授業の復習			
7		実技・演習	広告業界・SNS業界について	前回授業の復習			
8		実技・演習	映画業界について	前回授業の復習			
9		実技・演習	映画業界について	前回授業の復習			
10		実技・演習	映画業界について	前回授業の復習			
11		実技・演習	プロジェクト(学校Tiktokの企画) 企画の立案～プレゼンテーションの作成～プレゼン	前回授業の復習			
12		実技・演習	プロジェクト(学校Tiktokの企画) 企画の立案～プレゼンテーションの作成～プレゼン	前回授業の復習			
13		実技・演習	プロジェクト(学校Tiktokの企画) 企画の立案～プレゼンテーションの作成～プレゼン	前回授業の復習			
14		実技・演習	プロジェクト(学校Tiktokの企画) 企画の立案～プレゼンテーションの作成～プレゼン	前回授業の復習			
15		実技・演習	プロジェクト(学校Tiktokの企画) 企画の立案～プレゼンテーションの作成～プレゼン	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	進級制作(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	北見翔
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)		
教員の略歴	GROUP THEATREに所属。銀河劇場、東京芸術劇場シアターイーストなどで主演として舞台を踏む。2019年から約2年間、英語習得と演技の可能性を広げるため留学。帰国後、成井豊演出舞台「ナミヤ雑貨店の奇蹟」、内田英二監督映画「サイレントラプ」などに出演。舞台から映像まで幅広く活動し、現在に至る。						
授業の学習内容	シーンワークを中心とし、作品への取り組み方・理解を深め、自分の感性を磨く						
到達目標	シーンを通じて、相手との向き合い方を学ぶ。一つ一つの瞬間を繋げるために台詞の表面ではなく、その裏側に隠されたメッセージを深く理解し、自分らしくアウトプット出来るようにする。						
評価方法と基準	毎回授業に参加し、各々の課題にしっかりと向き合い準備する。その姿勢と結果に基づいて評価する。出席率:70% 実技:30%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	オリエンテーション・課題ヒアリング	前回授業の復習			
2		演習	シアターゲーム・五感を起こすエクササイズ	前回授業の復習			
3		演習	キャラクターワーク・役作りについて	前回授業の復習			
4		演習	キャラクターワーク・役作りについて	前回授業の復習			
5		演習	本読み・ベア決め・リハーサル	前回授業の復習			
6		演習	シーンワークリハーサル①	前回授業の復習			
7		演習	シーンワークリハーサル②	前回授業の復習			
8		演習	シーンワーク発表	前回授業の復習			
9		演習	シーンワークリハーサル①	前回授業の復習			
10		演習	シーンワークリハーサル②	前回授業の復習			
11		演習	シーンワーク発表	前回授業の復習			
12		演習	シーンワーク発表	前回授業の復習			
13		演習	アクティングエクササイズ	前回授業の復習			
14		演習	アクティングエクササイズ	前回授業の復習			
15		演習	アクティングエクササイズ・後期課題ヒアリング	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	進級制作(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	北見翔
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)		
教員の略歴	GROUP THEATREに所属。銀河劇場、東京芸術劇場シアターイーストなどで主演として舞台を踏む。2019年から約2年間、英語習得と演技の可能性を広げるため留学。帰国後、成井豊演出舞台「ナミヤ雑貨店の奇蹟」、内田英二監督映画「サイレントラブ」などに出演。舞台から映像まで幅広く活動し、現在に至る。						
授業の学習内容	シーンワークを中心とし、作品への取り組み方・理解を深め、自分の感性を磨く						
到達目標	脚本を理解する能力を身に着け、自分らしくアウトプット出来るようにする。						
評価方法と基準	毎回授業に参加し、各々の課題にしっかりと向き合い準備する。その姿勢と結果に基づいて評価する。出席率:70% 実技:30%						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	シーンワークリハーサル①	前回授業の復習			
2		演習	シーンワークリハーサル②	前回授業の復習			
3		演習	シーンワークリハーサル③	前回授業の復習			
4		演習	シーンワーク発表	前回授業の復習			
5		演習	シーンワーク発表	前回授業の復習			
6		演習	シーンワークリハーサル①	前回授業の復習			
7		演習	シーンワークリハーサル②	前回授業の復習			
8		演習	シーンワークリハーサル③	前回授業の復習			
9		演習	シーンワークリハーサル④	前回授業の復習			
10		演習	シーンワーク発表	前回授業の復習			
11		演習	シーンワーク発表	前回授業の復習			
12		演習	シーンワーク発表	前回授業の復習			
13		演習	アクティングエクササイズ	前回授業の復習			
14		演習	アクティングエクササイズ	前回授業の復習			
15		演習	アクティングエクササイズ・課題ヒアリング	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	卒業制作(1)		必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	和田洋
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)		授業形態	演習	総時間(単位)	240(8単位)		
教員の略歴	和田 / 映画 テレビドラマ CM PV ゲームなどの映像作品の制作に美術として携わり45年の実績を持つ 日本映画撮影監督協会所属 大木 / CM 映画 ドキュメンタリーなどの撮影監督・演出							
授業の学習内容	映画制作過程を通して、その楽しさと難しさを体験する。							
到達目標	映画制作に支障のないよう各パートの準備							
評価方法と基準	出席率 積極性 授業の理解度							
授業計画・内容								
回数	日程	授業形態	学習内容			準備学習 時間外学習(学習課題)		
1		演習	制作工程を知る			前回授業の復習		
2		演習	演出と美術の作品への関わり方			前回授業の復習		
3		演習	撮影の作品への関わり方			前回授業の復習		
4		演習	『姉ちゃん』試写・合評 『雪の墓標』シナリオ配布			前回授業の復習		
5		演習	シナリオの読み合わせ			前回授業の復習		
6		演習	シナリオ分析・参考資料集め			前回授業の復習		
7		演習	シナリオ分析・参考資料集め			前回授業の復習		
8		演習	完成イメージの共有			前回授業の復習		
9		演習	スタッフィング			前回授業の復習		
10		演習	(制)(演)(美)役割の確認			前回授業の復習		
11		演習	(演)(美)美術作業			前回授業の復習		
12		演習	第一回美術打合せ			前回授業の復習		
13		演習	(制)予算出し(演)キャスティング 美術作業(美)セット図面作業			前回授業の復習		
14		演習	(制)ロケ場所決定(演)演出・スケジュール決め(美)セット図面完成			前回授業の復習		
15		演習	第二回美打(オールスタッフ)			前回授業の復習		
準備学習 時間外学習								
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。								
東京俳優・映画＆放送専門学校								

授業名	卒業制作(2)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	和田洋
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	240 (8単位)		
教員の略歴	和田 / 映画 テレビドラマ CM PV ゲームなどの映像作品の制作に美術として携わり45年の実績を持つ 大木 / CM 映画 ドキュメンタリーなどの撮影監督・演出。 日本映画撮影監督協会所属						
授業の学習 内容	映画制作過程を通して、その楽しさと難しさを体験する。						
到達目標	映画制作に支障のないよう各パートの準備						
評価方法と基準	出席率 積極性 授業の理解度						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	装置・装飾図準備作業	前回授業の復習			
2		演習	装置・装飾図準備作業	前回授業の復習			
3		演習	(演)(美)(技)カメラテスト	前回授業の復習			
4		演習	美打ち 全体確認	前回授業の復習			
5		演習	(技)カメラチェック	前回授業の復習			
6		演習	(技)カメラチェック	前回授業の復習			
7		演習	撮影	前回授業の復習			
8		演習	撮影	前回授業の復習			
9		演習	撮影	前回授業の復習			
10		演習	撮影	前回授業の復習			
11		演習	ピクチャーロック	前回授業の復習			
12		演習	ピクチャーロック	前回授業の復習			
13		演習	ピクチャーロック	前回授業の復習			
14		演習	ピクチャーロック	前回授業の復習			
15		演習	初号ラッシュ・振り返り	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							

授業名	作品制作(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	和田洋
		授業形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)		
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)						
教員の経歴	和田 / 映画 テレビドラマ CM PV ゲームなどの映像作品の制作に美術として携わり45年の実績を持つ 日本映画撮影監督協会所属 大木 / CM 映画 ドキュメンタリーなどの撮影監督・演出						
授業の学習内容	表現者及び表現を支える技術者の育成を目的とする。 プロフェッショナルの現場で最低限身につけていなければならない基礎知識と職業人としての基本的態度及び理念の習得を目指す。映画撮影技術全般の座学及び実習。 映画制作における業界での常識的な考え方・約束事 各職能における仕事の携わり方 システムなどを模範的に1作品作り上げる事によって各自学ぶ						
到達目標	映画がどのように作られていくのかを体験を通して理解 集団作業での規律と対応力、楽しさや大変さを学ぶ。						
評価方法と基準	出席率 積極性 授業の理解度						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	映画制作スタッフ担当分け授業	前回授業の復習			
2		演習	脚本の推敲 美術打ち合わせ資料作り	前回授業の復習			
3		演習	美術打ち合わせ	前回授業の復習			
4		演習	撮影計画 スケジュール策定・技術的課題の洗い出し 大道具打合せ作業開始 装飾部原稿関係作り物関係作業開始	前回授業の復習			
5		演習	ロケハン	前回授業の復習			
6		演習	ロケハン・コンテ割り 美術準備作業	前回授業の復習			
7		演習	ロケハン・コンテ割り 美術準備作業	前回授業の復習			
8		演習	カメラテスト・リハーサル(代役?)・装置会社との打合せ	前回授業の復習			
9		演習	カメラテスト・リハーサル(代役?)・装飾部高津打合せ	前回授業の復習			
10		演習	オールスタッフ 美打ち	前回授業の復習			
11		演習	オールスタッフ 美打ち	前回授業の復習			
12		演習	オールラッシュ/撮影素材をすべて見て技術的な可否を判断。追加撮影?美術・演出疑問反省会 ポスプロ作業□	前回授業の復習			
13		演習	オールラッシュ/撮影素材をすべて見て技術的な可否を判断。追加撮影?美術・演出疑問反省会 ポスプロ作業□	前回授業の復習			
14		演習	オールラッシュ/撮影素材をすべて見て技術的な可否を判断。追加撮影?美術・演出疑問反省会 ポスプロ作業□	前回授業の復習			
15		演習	授業まとめ ポスプロ作業 試写会	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画&放送専門学校							

授業名	作品制作(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	和田洋
学科・専攻	総合芸術科(昼間部二)	授業形態	演習	総時間 (単位)	120 (4単位)		
教員の略歴	和田 / 映画 テレビドラマ CM PV ゲームなどの映像作品の制作に美術として携わり45年の実績を持つ 大木 / CM 映画 ドキュメンタリーなどの撮影監督・演出。 日本映画撮影監督協会所属						
授業の学習 内容	表現者及び表現を支える技術者の育成を目的とする。 プロフェッショナルの現場で最低限身につけていなければならない基礎知識と職業人としての基本的態度及び理念の習得を目指す。映画撮影技術全般の座学及び実習。 映画制作における 業界での常識的な考え方,約束事 各職能における仕事の携わり方 システムなどを模擬的に1作品作り上げる事によって各自学ぶ						
到達目標	映画がどのように作られていくのかを体験を通して理解 集団作業での規律と対応力、楽しさや大変さを学ぶ。						
評価方法と基準	出席率 積極性 授業の理解度						
授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
1		演習	後期共同作品脚本渡し 担当決め	前回授業の復習			
2		演習	脚本検討	前回授業の復習			
3		演習	参考映像鑑賞 分析	前回授業の復習			
4		演習	各担当分け作業準備開始	前回授業の復習			
5		演習	美術打ち合わせ	前回授業の復習			
6		演習	各担当分け作業開始	前回授業の復習			
7		演習	各担当分け作業開始	前回授業の復習			
8		演習	各担当分け作業開始	前回授業の復習			
9		演習	装飾部高津打合せ・装置作り開始	前回授業の復習			
10		演習	オールスタッフ	前回授業の復習			
11		演習	美術・演出 疑問反省会 ポスプロ作業	前回授業の復習			
12		演習	美術・演出 疑問反省会 ポスプロ作業	前回授業の復習			
13		演習	美術・演出 疑問反省会 ポスプロ作業	前回授業の復習			
14		演習	美術・演出 疑問反省会 ポスプロ作業	前回授業の復習			
15		演習	授業まとめ	前回授業の復習			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 こちらで用意する教材を使用。							
東京俳優・映画＆放送専門学校							